

産業技術センターの 活用方法をご提案します

参加
無料

令和5年度鳥取県産業技術センター活動成果発表会

企業の皆さまに産業技術センターの活動を知っていただき「もっと」ご活用していただくために、「活動成果発表会」を開催します。第1部では、当センター第4期中期計画期間（令和元年度～4年度）の取り組み・活動を紹介し、第2部では分科会に分かれてセンターの研究成果や人材育成、技術支援の事例をご紹介します。

日時 令和5年11月21日(火) 13時30分から16時00分まで
方法 ハイブリッド開催（現地開催＋オンライン配信）

主催者挨拶 理事長 高橋紀子

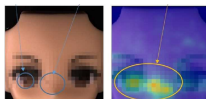
第1部 第4期重点分野の活動事例紹介

<生産性向上のためのAI・IoT・ロボット技術分野>

13:40 パッド印刷の特徴を考慮したAI画像処理によるフィギュア面相印刷の不良検出

電子システムグループ 主任研究員 山根 知之

印刷が重なり合うという特徴的なフィギュアの製品パッド印刷に適した画像検査システムの自動化に向けたAIモデル開発支援の事例を紹介します。



AIによる不良検出例

<次世代自動車関連部品の生産技術分野>

14:00 磁束密度制御治具を活用した異形状金属部品の選択的高周波誘導加熱法の開発

機械・無機材料グループ グループ長 佐藤 崇弘

高周波誘導加熱時の磁束密度を制御する新たな治具を考案しました。考案した治具で従来不可能であった異形状部品の特定箇所のみ熟処理することが可能となりました。



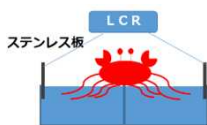
解析と実験

<豊富な水産資源を活用した高付加価値食品の開発分野>

14:20 交流電気抵抗を利用したベニズワイガニの選別技術

発酵・機能性食品グループ 研究員 藤光 洋志

体脂肪計（電気抵抗）のような技術を用いて、ベニズワイガニの味（甘味が強いのか、塩味が強いのか）などを個体ごとに判定できる技術開発を行いました。今回はその基本原理などを紹介いたします。



測定原理

第2部 研究成果・人材育成・支援事例

14:45 分野別分科会

3つの技術分野に分かれた分科会形式で、研究成果や人材育成、保有機器を用いた支援事例について、担当研究員が発表します。

電子・有機素材分科会

人体通信技術、製造工程のリアルタイム可視化開発支援、無機レジスト塗料、印刷用和紙開発、X線CTによる非破壊検査

機械素材分科会

軽量化材料、金属組織の微細化、人材育成によるロボットハブを活用した自動化システムの実装検証、CAE解析による支援事例、形状測定機と分光分析装置による解析事例

食品開発分科会

ブロックリーの冷凍技術、減塩食品の開発、機能性評価や製品開発支援の事例、焙煎よもぎ茶、クリープメーカーの活用事例

プログラムの内容は裏面をご覧ください。

オンライン参加の場合、分科会を横断した参加も可能です。ご興味のある発表をご聴講ください。

裏面プログラムの「参加希望欄」に○を付けてお申込み下さい。

[申込方法]

センターホームページの申込フォーム
<https://tiit.or.jp/3202/5450/e769/>



裏面の申込書をFAX or Mail

FAX : 0857-38-6210

Mail : tiitdenshiyuuki@tiit.or.jp

参加方法の詳細については、別途メール連絡いたしますので、お申し込みの際はメールアドレスを必ずご記入下さい。

申込期限：11月17日（金）

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター

[お問い合わせ先]

各担当者まで電話でお問い合わせ下さい。

電子・有機素材研究所（鳥取）

機械素材研究所（米子）

食品開発研究所（境港）

担当：谷岡（0857-38-6200）

担当：福谷（0859-37-1811）

担当：梅林（0859-44-6121）

第2部 研究成果・人材育成・支援事例

電子・有機素材分科会（開催場所：電子有機素材研究所（鳥取市））				参加希望
A1	14:45	【研究成果】人体通信技術を活用した作業データの収集・分析ツールの開発 ～現場での作業分析を簡便化、生産性を向上～	電子システムグループ 研究員 楠本 雄裕	
A2	15:00	【人材育成】製造工程のリアルタイム可視化システムの開発支援 ～工程の見える化システムを内製化、生産効率向上～	電子システムグループ 主任研究員 福留 祐太	
A3	15:15	【技術移転】鳥取県因州和紙を使った印刷用和紙の製品化と印刷和紙見本帳の作成 ～因州和紙の製品用途を拡大～	有機材料グループ グループ長 寺田 直文 上席研究員 谷岡 晃和	
A4	15:30	【支援事例】人材育成および共同研究による技術支援 ～電子基板向け紫外線反射性能を有する無機系レジストインク～	有機材料グループ 主任研究員 山本 智昭	
A5	15:45	【支援事例】X線透過装置、X線CT装置による不良発生原因の解明 ～電子部品、金属部品内部を非破壊で観察・解析～	電子システムグループ 研究員 田中 章浩	

機械素材分科会（開催場所：機械素材研究所（米子市））				参加希望
B1	14:45	【研究成果】自動車軽量化に向けたマグネシウム材料の高度化 ～軽量性と衝突安全性の両立を目指して～	機械・無機材料グループ 研究員 塚根 亮	
B2	15:00	【研究成果】繰り返し熱処理による金属組織の微細化とその評価 ～自動車部品の高強度化に向けて～	機械・無機材料グループ 主任研究員 松田 知子	
B3	15:15	【人材育成】とっとりロボットハブを活用した自動化システムの実装検証と人材育成 ～ロボット導入の道標～	システム制御グループ 上席研究員 吉田 裕亮	
B4	15:30	【支援事例】実験検証の難しいものはCAE解析で ～シミュレーション技術を用いたパイプハウスの強度解析事例～	システム制御グループ 研究員 亀崎 高志	
B5	15:45	【支援事例】形状測定機と分光分析装置の活用事例 ～データで見える化する機械部品の性状～	システム制御グループ 上席研究員 福谷 武司 機械・無機材料グループ 主任研究員 田中 俊行	

食品開発分科会（開催場所：食品開発研究所（境港市））				参加希望
C1	14:45	【研究成果】花蕾が落ちにくく食感が低下しない冷凍ブロックコリーの開発 ～冷凍ブロックコリーの弱点を克服しました～	食品安全・品質技術グループ グループ長 中野 陽	
C2	15:00	【研究成果】減塩だけれどおいしいをテーマにした食品開発 ～水産資源を活用した健康的な食品をご提案します～	食品加工グループ グループ長 加藤 愛	
C3	15:15	【人材育成】機能性評価や製品開発支援の事例紹介 ～人材育成事業の上手い使い道～	発酵・機能性食品グループ グループ長 杉本 優子	
C4	15:30	【人材育成】香り成分を指標とした焙煎よもぎ茶の開発 ～オリジナルの香りを求めて～	食品加工グループ 主任研究員 内川 拓也	
C5	15:45	【支援事例】食品物性試験機（クリープメータ）の活用事例 ～硬さや柔らかさを数値化し、品質管理や商品開発に活用～	食品加工グループ 研究員 長崎 稔拓	

申込書

FAX : 0857 - 38 - 6210, Mail : tiitdenshiyuuki@tiit.or.jp

センターHPの
申込フォーム



参加希望する番号に○をつけてください

参加形態： (1) 現地参加（各研究所で参加）・(2) オンライン参加
(3) 後日動画配信（開催日翌日より1か月間視聴可。URLをお送りします）

参加研究所： (1) 電子有機素材研究所（鳥取市） 現地参加の方のみ回答ください
(2) 機械素材研究所（米子市）・(3) 食品開発研究所（境港市）

第1部： (1) 参加 ・ (2) 不参加

第2部： 上記の活動成果発表プログラムの参加希望欄に ○ をご記入ください

企業名

所属・役職・氏名

電話番号

メールアドレス（必須）